

平成29年度

事業報告

公益財団法人 濑戸市文化振興財団

目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会 と場を提供する事業（公益目的事業1）	5
2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業 （公益目的事業2）	11
3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業 （公益目的事業3）	15
4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益 事業1）	19
III. 庶務の概要	20
IV. 付属明細書	23

I. 事業概要

当財団は、平成29年度事業の実施に当たり、公益財団法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民を始め皆様に親しまれ、満足いただける事業展開に心がけてまいりました。

一方で、国や市からの補助金を受け事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めてまいりました。

瀬戸市の文化行政と目的を共有した事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与するため全力で取り組んでまいりました。

特に、平成29年度の事業実施に当たっては、瀬戸市を含む日本六古窯が日本遺産に認定されたことを受け、瀬戸焼の歴史や伝統・文化等を広く市内外に伝えるための取組を積極的に行うことで、「日本遺産のまち瀬戸」のアピールにつなげるとともに、藤井聰太棋士の活躍によって注目を浴びている将棋文化の市民等への普及啓発を図り、地域の活性化につなげていくための新たな取組を始めました。

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）

文化芸術の振興を図るため、瀬戸市の文化施設を活用してさまざまな分野の鑑賞事業や体験事業などの機会を提供するとともに、市民が身近に文化芸術に触れる場を安定的に確保、提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与することを目的に取り組みました。

【舞台鑑賞の機会を提供する事業】

4つのホール公演事業は、「特撰落語 三遊亭円楽 独演会」と「新B S 日本のうた公開収録」が1,100人を超える皆様に、「ファミリーコンサート オーケストラで聴くジブリ音楽」が約900人、「小椋 佳 歌談の会」が約1,250人の皆様にご鑑賞いただきました。多くの皆様にご鑑賞いただけたのは、4公演の内容もさることながら、公演に際しての多方面にわたるPRなどが功を奏したものと分析しております。

加えて、平成28年度に引き続き、陶壁クラシックコンサートやバックステージ探検ツアーを始め、ピアノ演奏体験やロビーコンサートなど小規模ではありますがホール関連事業を積極的に開催することで、文化施設の利用について理解していただくとともに、さまざまなニーズを把握することに繋がりました。

【美術鑑賞の機会を提供する事業】

美術館では、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

このうち、特別企画展「市制88周年記念 心に響く感動の世界 山下清とその仲間たちの作品展」には7,551人の来館者があり、高い造形力と豊かな色彩感覚に満ちた八幡学園の子どもたちの作品に触れていただく機会となりました。

特別展では、千年の歴史の中で進化してきた瀬戸焼の名品を紹介した「瀬戸焼

千年の歩みーその絶え間ない進歩ー」や同時開催された「第2回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」のグランプリ受賞者の作品展「加藤秀樹展」のほか、占領時に海外に輸出された瀬戸のノベルティを中心に戦後間もない頃に生産された多種多様な「せともの」を紹介した「海を渡ったせとものたち 田中莊子オキュパイド・ジャパンコレクション」を開催するなど、瀬戸焼の歴史や伝統を始め多様な芸術文化を紹介し、多くの来館者にご鑑賞いただきました。

新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸の今を紹介する施設として、第一線で活躍する若手作家等の多彩で創造性に溢れた作品を広く紹介する企画展を開催するとともに、次世代に繋がる新たな陶芸、ガラス工芸文化の創造に努めました。

また、陶芸作品やガラス工芸作品に気軽に触れることのできるギャラリー展示にも心がけました。

瀬戸染付工芸館では、呉須と呼ばれる顔料による青一色の濃淡で表現する瀬戸染付の纖細で鮮やかな作品をご覧いただく機会が提供できました。伝統的な瀬戸染付の魅力をより多くの皆様にお伝えするため、さらなる工夫やPR活動の強化が求められます。

【体験活動の機会を提供する事業】

やきもの文化、技術などを多くの人々に知っていただくため、新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸に、初心者でも気軽に参加でき満足いただけるような工房体験に努め、親しんでいただける機会としました。

また、瀬戸染付工芸館の染付体験では、さまざまなニーズに応じた、初心者から上級者まで気軽に体験でき、満足いただけるメニューの提供に努め、染付技術の理解と普及に繋げました。

文化体験講座では、文化団体の協力のもと次世代を担う子どもたちの新しい体験と楽しい思い出づくりの一助としました。

また、子どもたちに将棋の魅力や楽しさを伝えるため、第1回子ども将棋大会を開催し、多くの子どもたちに参加していただきました。

【国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業】

国内レジデンス機関の連携を推進する公益財団法人滋賀県陶芸の森からの要請に応え、新世紀工芸館も会場の一つとして、アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 事業の運営課題等をテーマにした研究会や招聘作家によるトークショーを開催しました。

【文化芸術に触れる場の提供を行う事業】

文化ホールや文化交流館を文化芸術に親しむ機会として安定的に提供し、文化団体等の主体的、創造的な活動に繋げることができました。前年度と比較して利用件数で9.5%（328件）、利用者数で1.5%（3,601人）の減少となりました。

また、使用率（使用日数÷使用可能日数）から分析しますと、文化ホールでは、年間70%程度で比較的高い使用率となっており、最近は増加傾向にありますが、文化交流館の会議室等では、平均使用率が60%程度で、やや減少傾向となっています。特に、例年の傾向ですが和室と茶室は30%台と使用率が低迷しており

ます。

今後とも、適正な管理及び運営に努め、施設利用の促進を図ってまいります。

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

陶芸やガラス工芸などに関する分野の専門知識、技能を習得する人材育成事業や創作、発表といったコンクールなどを実施することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励することにより、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

【人材育成の機会を提供する事業】

陶芸やガラス工芸の創作活動の場である新世紀工芸館、瀬戸染付の保存、伝承の場である瀬戸染付工芸館の両施設では、次世代を担う作家の輩出を目指し、これまで多くの若者を研修生として受け入れてきました。研修生が自らの課題を掲げ、外部講師などによる指導、助言などを受けながら主体的に制作活動に励めるようサポートしました。

しかしながら、近年、社会情勢の変化などにより研修生の受け入れが減少傾向にあり、特に瀬戸染付工芸館では、平成28・29年度と新規の受け入れがなく、両施設のPR強化とともに、魅力ある研修機関として、研修生の受け入れに向けた積極的な取り組みが求められます。

【文化芸術活動を支援・奨励するための事業】

歴史を重ねてきた第70回美術展や第66回文芸発表会には、部門により差異はあるものの、平成29年度も多くの方からご応募いただき、関心の高さが伺えます。今後もより多くの皆さんからご応募いただけるようPR活動などに取り組んでまいります。

文化芸術活動の発表機会を提供する事業では、文化の祭典で瀬戸市文化協会の協力をいただきながら、加盟する62の文化芸術団体が、日頃の研鑽の成果を発表する機会として文化ホールを提供し、今後の活動に繋げていただきました。

また、ふれあい芸術展では、28団体及び22個人による多彩な作品で会場が華やぎ、来館者に楽しんで鑑賞いただける機会を提供できました。

さらに、いけばな展では、各流派による花の共演が来館者の目を引き、また趣のある陶祖公園などの茶室を会場に行われた茶会では、多くの方に茶の心にふれていただくことができました。

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業3）

瀬戸は平安後期から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史であるといえます。

本市の最大の特徴である窯業の歴史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報並びに学習活動の機会の提供を行いました。

また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行いました。

【埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業】

当財団の使命から、文化芸術活動の振興とともに文化財保護活動は、やきものを基軸とした一体的な事業展開が求められております。そのうち文化財保護活動では、調査、研究、保存、活用といった点において、さまざまな角度から成果を明らかにし、展示、公開など情報提供に取り組んでまいりました。

発掘、試掘、確認調査では、市内遺跡である白坂雲興寺遺跡を始め5か所を調査し、貴重な資料が得られるとともに、今後出土品の整理を進め、成果報告書の作成とともに、保存、活用に繋げてまいります。

【窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業】

瀬戸焼を中心とした文化財や窯業史に関して情報提供することにより、窯業史研究の発展に資するとともに、郷土の文化財や歴史への興味を喚起し、知識教養を深めるため、瀬戸焼データベースの構築、研究紀要の発刊のほか、瀬戸市歴史文化基本構想策定資料として、市内に残る警固祭りの標具（山車）を中心とした民具の記録を集めた報告書を作成しました。

【文化財に関する学習活動の機会を提供する事業】

文化財に関する学習活動では、講演会や企画展示などの充実を通じて、郷土の歴史に関心を持ち、次世代に伝える文化財思想の普及に努めたほか、小学校などに講師を派遣し、文化財や歴史についての理解を深める学習機会の提供に努めました。

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

瀬戸市より管理運営を受託している文化センターの各施設について、空き時間の有効利用を図り、利用促進に繋げることを目的として、公益目的事業以外に貸与しました。

貸与実績の主な内容を見ますと、市役所等官公庁及び関係機関が、総会、大会、打合せ会議、全市的な催し物などに利用される場合のほか、民間企業並びに団体による健康診断業務、各種相談業務、セミナー、研修会、勉強会、会議など幅広く利用していただいております。

中心市街地からも近く駐車場も完備しており、施設利用には適していることから、例年、同程度の利用実績があります。

今後とも、効率的な施設の維持管理に努め、一層の利用促進を図ってまいります。

II. 事業説明及び事業実績

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）

(1) 舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催公演事業）

内容： 文化センター文化ホールを会場とし、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した鑑賞型ホール事業を開催しました。

事業名	委託先	開催日	入場料	入場者数
特撰落語会 三遊亭円楽 独演会 (共催)	エイフル企画㈱	4/9(日)	S席 3,800円 A席 2,800円	1,118人
新BS日本のうた 公開収録 (共催)	NHK 名古屋放送局	4/20(木)	無料	1,150人
ファミリーコンサート オーケストラで聴く ジブリ音楽	㈱タイトプラン ニングオフィス	11/19(日)	一般 3,000円 高校生以下 2,000円	890人
小椋 佳 「歌談の会」	(有) 創芸	30.3/3(土)	S席 5,000円 A席 4,000円	1,254人

(文化ホール関連事業)

事業名	開催日	参加者数
陶壁クラシック 2017春 ヴァイオリン&ピアノデュオで旅するヨーロッパ	5/7(日)	88人
文化ホールバックステージ探検ツアー	7/29(土)	39人
陶壁クラシック 2017夏 8月の弦楽八重奏=ダブル・カルテット	8/5(土)	100人
コンサートピアノ演奏体験	8/25(金) 8/26(土)	82人
陶壁クラシック 2017秋 サクソフォンで描くドラマチックな情景	11/18(土)	101人
聖霊高等学校クリスマスミニコンサート	12/4(月)	76人
親子で楽しむ陶壁クラシック (無料)	30.2/18(日)	15組57人
陶壁クラシック 2018冬 土のひびき 木のひびき	30.2/18(日)	103人

*陶壁クラシックは入場料1人 500円

(2) 美術鑑賞の機会を提供する事業（企画展開催）

① 美術作品の展示を行う事業（美術館企画展）

内容： 美術館企画展事業として、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

展覧会

() 内は前年度

事業名	開催期間	入館料	入館者数
企画展 瀬戸市美術館収蔵名品展	29.2/4(土) ～4/9(日)	大人 100円 高大生 100円	710人
特別展 せとものフェスタ 2017 瀬戸焼千年の歩み —その絶え間ない進歩— 第2回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ グランプリ受賞者展「加藤秀樹展」	4/15(土)～ 5/28(日)	大人 500円 高大生 300円	1,056人
企画展 曜変・長江惣吉展	6/3(土)～ 7/30(日)	大人 300円 高大生 200円	5,315人
企画展 鈴木紹陶武彫刻展	8/5(土)～ 10/1(日)	大人 300円 高大生 200円	1,232人
特別企画展 瀬戸市制88周年記念 心に響く 感動の世界 山下清とその仲間たちの作品展	10/7(土)～ 11/26(日)	大人 500円 高大生 300円	7,551人
特別展 海を渡ったせとものたち —田中莊子 オキュパイド・ジャパン コレクション—	12/2(土)～ 30.1/28(日)	大人 500円 高大生 300円	2,977人
企画展 加藤孝爾陶芸展 藤井達吉と瀬戸陶芸へのその遺響	30.2/3(土) ～4/8(日)	大人 300円 高大生 200円	1,140人
瀬戸市美術館 年間開館日数	323日 (310日)	年間入館者数	19,338人 (18,314人)

(関連事業等)

演題	講師	開催日	開催場所	参加者数
講演会 「なぜ？どうして？ 真実を求めた山下清」	松岡 一衛氏 (「八幡学園」山下清 展事業委員会代表)	11/4 (土)	文化センター 文化交流館	57人
貼絵ワークショップ	松田 拓実氏 (「八幡学園」造形教室 講師)	11/5 (日)	文化センター 文化交流館	38人

記念講演会 「せとものたち」の 70年 —メイド・イン・オ キュパイドジャパン の魅力—	田中 荘子氏 (北米オキュパイド・ジ ヤパンコレクターの会 代表)	12/2 (土)	文化センター 文化交流館	88人
---	--	-------------	-----------------	-----

② 陶芸・ガラス工芸作品に特化して展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）

内容： 展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野等における作家を中心に、交流棟
では季節ごとにテーマを設けた企画展を開催しました。

（展示棟企画展）

（ ）内は前年度

事 業 名	開催期間	入館者数
加倉井秀昭・木越あい 展	4/1～6/18	1,387人
兼行誠吾 板屋成美 展	6/24～9/17	1,510人
アーティスト・イン・レジデンス展	10/7～11/12	460人
第6回そば猪口アート公募展	11/18～30.1/14	725人
平成29年度愛知県立瀬戸窯業高等学校 セラミック陶芸専攻科修了制作展(共催)	30.1/20～1/28	567人
工芸館展示棟 年間開館日数	272日 (271日)	年間入館者数 7,667人 (9,351人)

（交流棟企画展）

（ ）内は前年度

事 業 名	開催期間	入館者数
お気に入りを部屋に飾る陶とガラスと五月人形展	4/1～5/7	926人
ガラスと飲み物のうつわいろいろ展	5/27～7/23	1,248人
季節を楽しむごはんのうつわ展	7/29～9/24	1,942人
陶とガラスの5人展 vol.4	9/30～11/19	669人
陶とガラスの冬のおくりもの展	11/25～30.1/14	799人
陶とガラスの花とお菓子を楽しむ雛まつり展	30.1/20～3/11	2,268人
工芸館交流棟 年間開館日数	273日 (258日)	年間入館者数 8,126人 (8,975人)

③ 歴史的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）

内容：伝統的なやきものである「瀬戸染付」の歴史的名品を展示する企画展を開催しました。

() 内は前年度

事業名	開催期間	入館者数
飯碗・茶碗 一瀬戸染付を中心に一	4/1～6/26	1,363人
瀬戸染付のいろいろな“うつわ”	6/28～9/25	1,448人
染付名品展 一明治時代の名工達一	9/27～12/27	1,160人
瀬戸市収蔵 濑戸染付 一華開いた美一	30.1/5～3/26	3,566人
染付工芸館 年間開館日数	307日 (306日)	年間入館者数 7,607人 (7,506人)

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

内容：やきもの文化や技術を伝えるため、各種体験教室等を開催しました。

また、次代を担う子どもたちを対象として文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体が実施する体験講座を支援しました。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

() 内は前年度

事業名	開催期間	参加者数
「陶芸体験」 ロクロ体験、手びねり体験、絵付け体験	毎月第1、第3日曜日の 午前・午後	179人 (193人)
「ガラス体験」 吹きガラス体験、サンドブラスト体験	6月、7月、10月2回、11 月2回、12月、2月、3 月の年9回	84人 (80人)

(イ) 瀬戸染付工芸館体験事業

() 内は前年度

事業名	開催期間	参加者数
「瀬戸染付体験教室」	4月～3月(月1回)	229人 (273人)
「常設染付体験」	通年	作品 573個 (563個)

(ウ) 文化体験講座

() 内は前年度

事業名	開催期間	参加者数
夏休み期間中子供向け講座（16講座） 日本舞踊、マジック、書道、囲碁、箏、押し花、日本画、津軽三味線、太鼓、水彩画、茶道、フラダンスなど	7/21(金)～8/29(火)	318人 (321人)
瀬戸の原土から粘土をつくろう！ —世界にひとつのオリジナルマグネットづくりー	7/23(日)	26人
第1回子ども将棋大会	8/26(土)	86人 来場者(350人)
日本遺産認定記念 版画であそぼう！クイズ de 学ぼう！ せと！（会場：瀬戸蔵ミュージアム）	8/26(土)	64人

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業（国際セラミック＆ガラスアート交流プログラム）

内容：国際的に活躍する陶芸家・ガラス工芸作家を瀬戸に招聘し、滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施するほか、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家の理解を深め、作家の指導のもと、粘土・ガラスを素材とした造形を体験する機会を提供し、招聘作家が滞在制作した作品の展覧会を開催するもの。

国の補助採択基準の変更に伴い、平成29年度は補助採択されず実施することができませんでしたが、同様の事業で補助採択された「公益財団法人滋賀県陶芸の森」からの要請もあり、「京都芸術センター」「益子陶芸美術館」とともに、新世紀工芸館も会場となり、アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業の運営課題等をテーマにした研究会や招聘作家によるトークショーを開催しました。

長年に渡り継続して実施してきた事業で、評価も高いことから、実績及び成果をもとに内容精査の上、平成30年度も取り組むべく補助申請を行っております。

事業名	開催日・開催場所
アーティスト・イン・レジデンス研究会	9/9（滋賀県陶芸の森） 11/11（益子陶芸美術館） 30.1/20（新世紀工芸館）
アーティスト・イン・レジデンストークショー	9/10（滋賀県陶芸の森） 11/12（益子陶芸美術館） 30.1/21（新世紀工芸館）

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（文化施設運営事業）

内容：瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を市民の文化活動の場として提供しました。

①市民文化に触れる場の提供（地域文化広場運営事業）

（文化ホール）

会 場	平成29年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
ホール	240	99,382	209	87,875	114.8	113.1
リハーサル室(1)	196	7,949	265	9,206	74.0	86.3
リハーサル室(2)	100	1,188	131	1,646	76.3	72.2
リハーサル室(3)	76	740	91	991	83.5	74.7
小計	612	109,259	696	99,718	-84 件	9,541 人

（文化交流館）

会 場	平成29年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
11会議室	314	13,438	410	14,883	76.6	90.3
12会議室	264	13,601	305	15,002	86.6	90.7
13会議室	485	15,301	484	14,901	100.2	102.7
21会議室	182	8,638	193	8,640	94.3	100.0
22会議室	256	18,787	281	21,291	91.1	88.2
31会議室	244	24,662	261	27,590	93.5	89.4
32会議室	334	5,520	366	5,703	91.3	96.8
ギャラリー	219	17,102	246	20,986	89.0	81.5
和 室	127	4,660	130	5,830	97.7	79.9
茶 室	105	2,318	98	2,343	107.1	98.9
小計	2,530	124,027	2,774	137,169	-244 件	-13,142 人
総合計	3,142	233,286	3,470	236,887	-328 件	-3,601 人

②工芸文化に触れる場の提供（新世紀工芸館運営事業）

事業名	開催期間	開催場所	入場者数
「五歳時記展」vol.3(瀬戸クラフト協会)	5/12～5/24	交流棟 2階	152人
にっぽん招き猫大賞作家展	9/23～10/1	展示棟 2階	1,856人
瀬戸原型陶彫会作品展	30.3/16～3/21	交流棟 2階	122人

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

(1) 人材育成の機会を提供する事業（人材育成事業）

内容： 新世紀工芸館は陶芸・ガラス工芸の創作活動の場として、また、瀬戸染付工芸館では瀬戸染付の技術の保存・伝承を図るため、技術・技能を習得するための研修事業を行いました。

(ア) 工芸分野における人材育成を行う事業

コース	14期生	15期生	研修生計
陶芸コース	1人	2人	3人
ガラス工芸コース	2人	2人	4人

※ ガラス工芸コース14期生 平成29年6月退館1名

() 内は前年度

事業名	開催期間	開催場所	入館者数
研修生による招き猫展	9/23～10/1	新世紀工芸館 ギャラリー	431人 (403人)
瀬戸市新世紀工芸館 第14期研修生修了作品展 第15期研修生作品展	30.2/3～3/18	新世紀工芸館 展示棟	1,133人 (1,251人)

(イ) 瀬戸染付技術における人材育成を行う事業

27年度入館生	28年度入館生	29年度入館生	研修生計
1人	0人	0人	1人

平成28年度及び平成29年度入館生なし（研修期間は最大4年間）

() 内は前年度

事業名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸染付工芸館研修生作品展	30.3/8～3/11	文化センター 文化交流館 ギャラリー	297人 (210人)

(2) 文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

(ア) 美術作品のコンクールを行う事業（第70回瀬戸市美術展）

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の7部門で作品を広く公募し、優れた作品を表彰するとともに、入賞作品は展示を行いました。なお、今回は70回の記念展のため記念賞をそれぞれの部門に授与したほか、会場には「美術展のあゆみ」を掲示しました。

部 門	応募点数（内入選数）		美術展開催期間・場所
	平成29年度	平成28年度	
日本画	21(17)	25(20)	10/18(水)～22(日) 入場者数 2,473人 (前年度 2,861人) 文化センター文化交流館
洋 画	141(105)	136(96)	
彫 刻	16(16)	11(11)	
陶 芸	39(32)	33(31)	
書 道	30(30)	38(38)	
写 真	136(106)	142(117)	
工芸美術	38(38)	30(30)	
合 計	421(344)	415(343)	

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業（第66回瀬戸市文芸発表会）

内容： 俳句・川柳・短歌・詩の部門で作品を公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窓火」を発刊し作品を紹介しました。また、講師を招き記念講演会を開催しました。

() 内は前年度

部 門	選者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	《一般の部》 応募句数 448句 (469句) 特選 12句、入選 56句 《小中学生の部》 応募句数 906句 (585句) 特選 4句、入選 104句	応募句数 172句 (142句)	11/5(日) 表彰式 記念講演会 歌人 「近田順子氏」

短歌	《一般の部》 応募歌数 235 首 (274 首) 特選 6 首、入選 56 首 《小中学生の部》 応募歌数 15 首 (65 首) 特選 2 首、入選 4 首	応募歌数 71 首 (87 首)	参加者数 約 100 人 文化センター 文化交流館
川柳	《一般の部》 応募句数 384 句 (348 句) 特選 6 句、入選 32 句 《小中学生の部》 応募句数 343 句 (162 句) 特選 2 句、入選 28 句	応募句数 159 句 (141 句)	
詩	《一般の部》 応募詩数 38 編 (24 編) 特選 2 編、入選 7 編 《小中学生の部》 応募詩数 9 編 (7 編) 特選 1 編、入選 2 編	応募詩数 8 編 (7 編)	

② 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容： 市民の文化芸術活動を促進するため、邦楽、詩吟と民謡、洋楽Ⅰ、洋楽Ⅱの4部門で「文化の祭典」を実施しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
文化の祭典 「邦楽」	5/28(日)	約 600 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「詩吟と民謡」	6/4(日)	約 570 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽 Ⅱ」	6/11(日)	約 700 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽 Ⅰ」	6/25(日)	約 500 人	文化センター 文化ホール

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

内容： 短歌、川柳、俳句の題材を求めて、活動に勤しむ仲間同士が近郊の景勝地を訪問する吟行会を開催しました。後日、成果は作品集としてまとめ配布することにより、今後の活動の一助としました。

開催日	参加人数	部 門	開催場所
5/25(木)	60 人	短歌、川柳、 俳句	無量寺・安樂寺 (愛知県蒲郡市)

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体のコラボレーションによる芸術展等を開催しました。また、市内文化団体による「書道展」「いけばな展」「市民茶会」をそれぞれ開催しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
陶祖茶会	4/15(土) 16(日)	165 人	陶祖公園 「茶室竹露庵」
書道展	5/12(金) ~14(日)	372 人	文化センター 文化交流館
市民茶会	5/14(日)	446 人	文化センター 文化交流館
瀬戸ふれあい芸術展 (ふれあいコンサート)	10/25(水) ~29(日)	約 850 人	文化センター 文化交流館
ふれあい茶会	10/27(金) ~29(日)	225 人	文化センター 文化交流館
新春いけばな展	30.1/27(土) 28(日)	約 500 人	文化センター 文化交流館
新春茶会	30.1/27(土) 28(日)	692 人	文化センター 文化交流館

(エ) 共催・後援等による市民文化活動の支援

内容： 市民団体等が行う文化芸術活動の共催又は後援を行うことにより、市民の文化芸術活動を支援しました。

事業名	開催日	開催場所	主催者
2018 瀬戸いけばな芸術展	30. 4/7(土) 8(日)	文化センター 文化交流館	瀬戸いけばな協会

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業3）

（1）埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

内容： 埋蔵文化財を適切に保護し活用するために、発掘調査や重要遺跡の保存のための試掘調査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにしました。

（ア）埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘調査）

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡発掘調査
遺跡名	中水野遺跡(確認調査)	穴山窯跡(確認調査)
所在地	瀬戸市中水野町	瀬戸市山路町
調査面積	28.5 m ²	60.52 m ²
遺跡の性格	散布地	窯跡
遺跡の時期	古墳時代・中世	中世
主な遺構	土坑・溝・ピット	灰原・土抗
主な遺物	須恵器・山茶碗・施釉陶器	山茶碗・施釉陶器

	白坂雲興寺遺跡発掘調査	O-110号窯跡発掘調査
遺跡名	白坂雲興寺遺跡(発掘調査)	折戸(O)-110号窯跡 (発掘調査)
所在地	瀬戸市白坂町	日進市米野木町
調査面積	130 m ²	143 m ²
遺跡の性格	集落	窯跡
遺跡の時期	中世・江戸時代	奈良時代
主な遺構	掘立柱建物・土坑・ピット	灰原
主な遺物	施釉陶器	須恵器

	O-7号窯跡・O-G-18号窯跡確認調査
遺跡名	折戸(O)-7号窯跡・折戸(O)-G-18号窯跡(確認調査)
所在地	日進市折戸町
調査面積	9,260 m ²
遺跡の性格	窯跡
遺跡の時期	平安時代・中世
主な遺構	なし
主な遺物	須恵器・陶器・磁器

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
東洞A窯跡	瀬戸市東洞町	平成26年度
桂蔵窯跡他	瀬戸市西茨町	平成27年度
若宮遺跡(山口町304・305地点)	瀬戸市山口町	平成27年度
若宮遺跡(若宮町3-83地点)	瀬戸市若宮町	平成28年度
神川町遺跡	瀬戸市神川町	平成28年度
本地大塚古墳他	瀬戸市西本地町	平成27年度
白坂雲興寺遺跡	瀬戸市白坂町	平成29年度
O-110号窯跡	日進市米野木町	平成29年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

報告書名	体裁	発行数
第65集 本地大塚古墳・西本地町東遺跡発掘調査報告書	A4版 80頁	400 冊
第66集 市内遺跡発掘調査報告IX	A4版 80頁	400 冊

(2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業

(ア) 濑戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容： 全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼を種類や時代ごとに抽出可能なデータベースの構築、成果を公表するもので、平成29年度は再構築作業を行いました。

・新規図書登録 1,146件

(イ) 濑戸焼を中心とした文化財に関する情報提供を行う事業

内容： 「埋蔵文化財センター研究紀要 第21輯」の執筆を行いました。

(ウ) 民俗文化財（警固祭り標具等）調査事業

内容： 歴史文化基本構想策定資料として、瀬戸市内に残る民俗文化財の調査を行い、特に祭りに使用される標具（ダシ）を中心とした民具の記録を集成した報告書を作成しました。

「瀬戸市の警固祭り」（瀬戸市文化遺産活用実行委員会刊行）

(3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 濑戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演題	講師	
小牧山城・小牧城下町の発掘調査と 瀬戸・美濃大窯製品	中嶋 隆氏 (元小牧市教育委員会職員)	
開催日	開催場所	入場者数
平成29年11月11日（土）	スカイワードあさひ ひまわりホール	約40人

(イ) 濑戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

事業名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
遺跡からみた 瀬戸焼の歴史	10/14～ 11/19	スカイワードあさひ 歴史民俗フロア	無料	不詳 展示説明会 10/14 72人 11/11 21人

(ウ) 濑戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

内容： 濑戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示及び、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行いました。

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

事業名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
陶磁器图案家 馬淵利貞 —昭和初期の産業デザ イン—	29.2/4～ 5/7	瀬戸蔵ミュ ジアム 蔵特別展示室		14,929人
SAMS陶展	29.2/18 ～4/9	瀬戸蔵ミュ ジアム 中央通りギャ ラリー		10,007人
愛知県陶磁器技能 士会展	4/15～ 7/2	瀬戸蔵ミュ ジアム 中央通りギャ ラリー		5,620人
新出土品展 東印所 A 窯跡とそ の周辺—古瀬戸前期 の窯業生産—	5/13～ 7/23	瀬戸蔵ミュ ジアム 蔵特別展示室		4,554人
土の詩 —愛陶工陶芸部会展—	7/8～ 10/1	瀬戸蔵ミュ ジアム 中央通りギャ ラリー		7,810人
瑠璃釉のやきもの ～深遠な青の世界～	7/10～ 11/5	瀬戸蔵ミュ ジアム 企画展示室		9,557人
秋の窯めぐり展 —赤津・品野・水野の 窯屋—	10/1～ 11/12	瀬戸蔵ミュ ジアム 中央通りギャ ラリー	大人 500円 高大生・65歳 以上 300円	3,969人
セトノベルティの 魅力～なつかしの昭 和ファンシー～	11/11～ 30.1.21	瀬戸蔵ミュ ジアム 企画展示室		6,725人
SAMS陶展	11/18～ 30.1.14	瀬戸蔵ミュ ジアム 中央通りギャ ラリー		4,753人
むかしの道具展	30.1/20 ～4/15	瀬戸蔵ミュ ジアム 中央通りギャ ラリー		18,657人
開業30周年 愛知環状鉄道の歩 み	30.1/27 ～4/22	瀬戸蔵ミュ ジアム 企画展示室		18,071人

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

事業名	開催日	内 容	参加者
展示説明会	10/14(土) 11/11(土)	瀬戸焼の歴史と企画展示解説	合計 93人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依 頼 者	派遣日	内 容	対 象
品野台小学校	4/28(金)	上品野蟹川遺跡出土品に関する体験学習等	6年生 9人
幡山東小学校	5/1(月)・2(火)	出土品に関する学習、土器観察及び塚原古墳群の見学	6年生 74人
幡山西小学校	5/8(月)・10(水)・12(金)	瀬戸市の出土品についての説明・体験学習、埋蔵文化財センターの仕事についての説明等	6年生 92人
陶原小学校	5/9(火)・16(火)	6年生社会科の歴史学習・総合的な学習の地域学習「瀬戸の歴史を知ろう」及び古墳見学	6年生 100人
八幡小学校	5/23(火)	出土品に関する体験学習等	6年生 47人
尾張旭市教育委員会	12/20(水)	郷土の歴史講座「尾張旭市内の城跡」	一般 60人

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

当財団が管理運営している文化センターの利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

III 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 平成29年 5月24日	(1) 平成28年度事業報告に関する件 (2) 平成28年度決算報告に関する件 (3) 第6回定期評議員会招集に関する件 (4) 職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 〃 了承	文化センター 文化交流館 21会議室
第2回 平成30年 2月23日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団嘱託職員就業規程の一部を改正する規程に関する件 (2) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程に関する件 (3) 平成30年度事業計画書に関する件 (4) 平成30年度收支予算書に関する件 (5) 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (6) 臨時評議員会招集に関する件 (7) 職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 〃 〃 〃 〃 了承	文化センター 文化交流館 21会議室
第3回 平成30年 3月26日	(1) 常務理事の選任に関する件 (2) 重要な使用人の選任に関する件 (3) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団嘱託職員就業規程の一部を改正する規程に関する件	原案通り 可決 〃 〃	書面審議

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第6回定期 平成29年 6月21日	(1) 平成28年度事業報告に関する件 (2) 平成28年度決算報告に関する件	原案通り 可決 〃	瀬戸市役所 庁議室

第1回臨時 平成30年 3月26日	(1) 平成30年度事業計画書の承認に関する件 (2) 平成30年度収支予算書の承認に関する件 (3) 平成30年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件 (4) 理事の選任に関する件 (丹羽交代の件) (5) 監事の選任に関する件 (加藤交代の件)	原案通り 可決 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	文化センター 文化交流館 21会議室
-------------------------	---	---	--------------------------

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
平成29年 5月17日	平成28年度事業報告及び決算	適法適正 処理	文化センター 文化交流館 21会議室

(4) 役員

役職名	氏名	任期
理事長	伊藤 保徳	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀谷 政代司	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	丹羽 博	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	深見 和博	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	水野 和郎	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 光也	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 令吉	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

理 事	加藤 唐三郎	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 和守	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	成田 一成	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	小澤 修	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	加藤 都志雄	平成29年4月1日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏 名	任 期
評議員	青山 一郎	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	宮本 雅美	平成28年6月9日から平成31度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	蟹井 富貴	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	横山 彰	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

区分	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	計
事務局長	1人(嘱)		1人
課長・所長	1人(派)	1人	2人
課長補佐・副所長		1人	1人
係長・主任	1人	2人	3人
主事	2人(派)		2人
嘱託	4人		4人
臨時(常勤)	1人	1人	2人
計	10人	5人	15人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

区分	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	計
管理事務所長	1人(派)	1人(嘱)	1人(嘱・兼)	2人
嘱託	6人	3人	2人	11人
臨時(常勤)		3人		3人
計	7人	7人	2人	16人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

IV 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。

